

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

地理歴史科 科目 日本史

教科： 地理歴史科 科目： 日本史

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 日本史探究『高校日本史』 山川出版社 ）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】 日本の歴史に関して、調査や諸資料から様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明することができる。

【学びに向かう力、人間性等】 我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	B 単元 【知識及び技能】 ・法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係などを基に、幕藩体制の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・織豊政権との類似と相違などを多面的・多角的に考察して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近世の国家・社会の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに自覚などを深めようとしている。	・指導事項 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化 ・教材 教科書	【知識・技能】 幕藩体制の確立、貿易の統制と対外関係、産業の発達、近世の社会と文化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 幕藩体制の確立、貿易の統制と対外関係、産業の発達、近世社会の変容が文化の特色に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕藩体制の確立、貿易の統制と対外関係、産業の発達、近世の社会と文化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	○	○	○	8
				○	○	○	8
	定期考查			○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 ・産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、近代化の基盤の形成を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会・経済の仕組みの変化、近世の国家・社会の変容について、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近世の国家・社会の変容に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	・指導事項 1 幕政改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 幕府政治の動揺と諸藩の動向、飢饉や一揆の発生、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 幕府政治の動揺と諸藩の動向、飢饉や一揆の発生、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕府政治の動揺と諸藩の動向、飢饉や一揆の発生、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	○	○	○	7
				○	○	○	6
	定期考查			○	○		1

2 学 期	D 単元 【知識及び技能】 ・ 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の時代の転換を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目し、時代を通観する問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 幕末の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・ 指導事項 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足 ・ 教材 教科書	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、それにとりもなう対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、それにとりもなう対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基いて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、それにとりもなう対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	○	○	○	7
				○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	E 単元 【知識及び技能】 ・ 明治維新、自由民権運動を基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。・ 文明開化の風潮を理解している。 ・ 大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 欧米の思想・文化の影響、産業の発達の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化などに着目して諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 定期考査	・ 指導事項 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立 ・ 教材 教科書	【知識・技能】 立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、産業の発展の経緯と近代の文化の特色に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 明治維新やそれにとりもなう文明開化の風潮、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、産業の発展の経緯と近代の文化の特色に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基いて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やそれにとりもなう文明開化の風潮、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容について考察しようとしている。	○	○	○	7
3 学 期				○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	F 単元 【知識及び技能】 ・ 第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 近代国家形成の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・ 指導事項 1 日清日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制 ・ 教材 教科書	【知識・技能】 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化、ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。 【思考・判断・表現】 議院が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて、大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのか、大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味の考察、対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、学習改善しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計
							70